

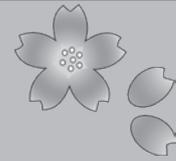


東京の会通信

No.228

2011年4月1日号
(毎月1回1日発行)

発行：公的骨髄バンクを
支援する東京の会
〒160-0005 東京都新宿区
愛住町23 Woody21-9F
TEL：03-3354-6377
(FAX兼用)



<http://www.marrow.or.jp/tokyo/>
e-mail:marrow_tokyo@yahoo.co.jp

定価 100円

東北地方太平洋沖地震の被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。
亡くなられた方々のご遺族の皆様に謹んでお悔やみ申し上げます。
一日も早く、水、電気、燃料、日用品の供給体制が回復し、日常生活を取り戻す足がかりができますよう、また闘病中の患者さんが、必要な医療や薬の供給を受けられますようお願いしています。

公的骨髄バンクを支援する東京の会

今年も都内献血ルームでの ドナー登録推進活動を実施

東京の会では今年も都内献血ルームにおいて、ドナー登録推進活動を実施します。昨年、20周年記念行事の一環として行なったもので、7箇所合計50名の方にドナー登録していただきました。20周年記念行事として始めた活動ではありますが、ドナールート活動は継続的に実施する必要があるため、東京の会では、今後も献血ルームでの登録推進活動を続けていくことになりました。

定例会にて、以下項目を検討・協議しました。

■対象献血ルームについて

昨年は都内7箇所の献血ルームを回り、活動しました。活動当日だけでは決められない献血者もいたため、「同じ場所で継続して活動すればいいのではないか？」という案が出されました。また、ドナー登録活動を円

滑に実施するためには、各ルームの日赤職員との連携が重要になります。同じ場所で何回か活動すれば、各ルームの担当者との交流が深まります。そのため、今年を対象の献血ルームを絞って活動することになりました。

具体的な活動ルームとしては、昨年良い結果が得られた「有楽町献血ルーム」「献血ルームぶらっと(池袋)」で活動することとしました。

■日程について

今年は7月からACジャパンによるCMが放映される予定です。それにより、これまであまり骨髄バンクに関して興味がなかった人にも、認知度が高まる効果が期待できます。CM放映に合わせて活動を実施し、相乗効果を狙うこととしました。

上記検討結果を持って、3月8日に有楽町献血ルームを訪問し、東京都赤十字センター有楽町出張所所長(都内ルーム責任者)の井上信吾氏を訪問しました。相談させていただいた結果、快諾いただきました。今後、具体的なスケジュールを決めていくこととなりました。

相談時にルーム毎の特徴を伺いました。「献血ルームぶらっと」「アキバ献血ルーム」「ハチ公前献血ルーム」では、比較的若い献血者が多いそうです。また「ハチ公前献血ルーム」は初回献血者も多く、若年層の献血活動に重要な役割を果たしているようです。し



池袋献血ルームぶらっとにて(2010年8月)

かし、若年層の献血者減少は深刻です。都内献血ルームで配布されている小冊子「Blood on Blood」によると、2000年と2009年を比較して、10代の献血率は半減(10%→6%)、20代の献血率も減少(10%→8%)となっています。この傾向が続くと、将来的に輸血用献血が大幅に不足する可能性が考えられます。

骨髓提供経験者がドナー体験を振り返って、「入院の必要な献血のようなものだった」と表現することを耳にします。骨髓提供には事前に自己血を採血して採

取後に自己血を戻し輸血して貧血を防止する措置が行われる場合があります、献血の経験をしている人の方が抵抗感をあまり持たずにドナーとして骨髓提供ができるのも事実です。若年層の献血離れは、若年層のドナー登録離れにつながるように思えます。東京の会は、若年層に向けて献血活動への呼びかけを実施して、将来にわたって安定的な血液が確保されることをめざしつつ、ドナー登録を呼びかけていきたいと思ひます。

(保居 範昭)

「あやちゃんの贈り物展」を終えて

1月31日から2月26日まで大阪芝田町画廊で開催された「あやちゃんの贈り物展」は、多くの方に感動を与え、反響も大きく、大成功のうちに終了しました。個展の開催をお申し出下さった芝田町画廊のマネージャー吉田隆博様より、あやちゃん展開催に際しての思いなどをご寄稿いただきましたのでご紹介致します。

芝田町画廊 マネージャー 吉田隆博

昨年12月に毎日新聞の記事で、あやちゃんの絵と出会いました。

当画廊開設のきっかけは、オーナー猪井の義父が市井の画家として、日々絵の事で悩んだり研究したりを繰り返し、死ぬまで画家としての道を歩み続けた姿に感銘を受けたことからでした。あやちゃんの絵と記事の内容を見た時に、画家としてのあやちゃんを感じ、是非個展を開きたいと思ったのです。

そして、三瓶和義様に連絡をとらせて頂き、その旨をお伝えしたところ、快く承諾して頂きました。最初は単に個展として、あやちゃんの絵を皆様に観て頂く

ことが目的でした。しかし、私もこれをきっかけに骨髓バンクやドナー登録について調べるようになり、他の方々にも関心を持ってもらうきっかけ作りが出来ればと思うようになりました。その為、当初の予定より規模も大きくなり、絵の点数も当初の倍、それに遺品などお借りして、昔テレビで特集されたあやちゃんの番組もモニターで流すということになりました。その準備のために三瓶様にも色々とお願ひを申し上げましたが、いつも素早い対応をして頂いたのが助かりました。そして、各地のボランティア団体なども紹介して頂き、ご協力頂きました。

今回の展覧会は、途中で関西テレビのニュースに取り上げられたのをきっかけに、一般の個人経営の画廊としてはかなりの来客数となりました。そして、皆様に感動して頂いたのはもちろんですが、実際に「ドナー登録しに行きます」とか「登録して来ました」という方も数名おられ、置いてあったドナー登録のしおりも30冊ほどが無くなりました。

あやちゃんの絵で感動して頂き、ドナー登録にも関心を持って頂いたことで、今回の「あやちゃんの贈り物」展は大成功だったと思います。そして何より、「画家になりたいかった」あやちゃんの夢が叶えてあげられたんじゃないかと自負しております。

今回の開催に関しましては、あやちゃんのご両親である三瓶様ご夫妻を始め、各ボランティア団体の方々には大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼を申し上げますと共に、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



日本骨髓バンクの登録患者と検査済登録ドナー
(平成23年2月末日現在)

	ドナー(全国)	ドナー(東京)	患者(全国)
登録者累計	379,128	53,326	32,317
2月登録分	2,545	237	192
2月抹消数	1,135	141	—
実質登録増	1,410	96	—

患者とドナー登録・適合状況(2月末日現在)

ドナー登録受付者数(累計)	493,517人
ドナー登録抹消者数(累計)	114,389人
有効二次検査済ドナー数	378,825人(2月1,426人増)
二次検査適合ドナー数(累計)	239,210人
実質登録患者実数(現在)	2,873人(国内1,473人)
HLA適合患者数(累計)	26,263人(患者累計数の81.3%)
非血縁移植実施数	12,693例(2月実施101例)

宮城順さん全国走覇チャレンジ 36,000人と都心を駆け抜ける

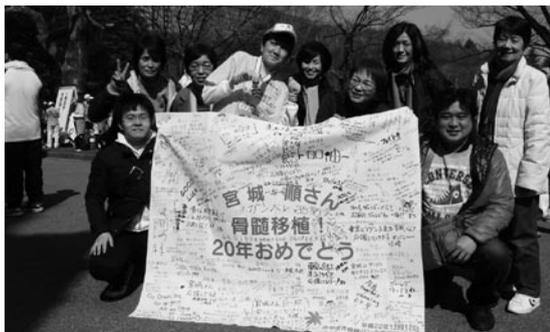
東京マラソンレポート

宮城 順

2月27日(日)、今回で5回目となる東京マラソンに参加してきました。第2大会目の東京マラソンは、私が4年前にマラソンを始めて1番最初に挑戦したマラソン大会です。毎年天候には恵まれない東京マラソンですが、今年は好天に恵まれ、スタートまでの時間もそれほど寒くなく待つことができました。

初めて走った東京マラソンは、緊張と制限時間内に間に合うのかという不安でいっぱいスタートでしたが、4年間でだいぶ経験を積んだのか、今では周りのランナーとスタートまでのカウントダウンをしたり、ハイタッチをしたりするなどの余裕がでるまでに成長していました。

そして待ちに待ったスタートの号砲が鳴り響き、東京マラソンが始まりました!とはいうものの、3万6千人以上のランナーが参加しているため、私のスタート位置は遥か後方、「どうやら始まったらしい?」が、正しい表現かもしれません。大会が始まって、しばらく大行列が動きだす気配はなく、スタート地点を通過するまでには10分近くかかってしまいました。私がいた地点は全体の真ん中あたり、それを考えると最後尾のランナーがスタート地点を通過するまでには20分以上かかったと思います。ランナーの



数もすごいですが、沿道にもものすごい応援の人々が繰り出して東京マラソンを盛り上げていました。

自然の中を走るのも気持ちが良いですが、大都会を走るというのもとても気持ちのいいものです。東京の道路は整備が行き届いており、高低差も少ないため、とても走りやすく、普段車や電車からは違う角度で見える街並みは新鮮でとても楽しめます。

今回、公的骨髓バンクを支援する東京の会の方々が曙橋付近に応援に駆けつけてくれていると聞いていたのですが、あまりの人の多さに見つけられるかどうか心配でした。しかし、3km付近の沿道に見覚えのある「骨髓バンク」ののぼりを発見し、急いで沿道へ近づいていきました。

この大人数の中、皆さんに応援してもらえたことで、とてもテンションがあがり、疲れを忘れるほどでした。あまりの大混雑のため、立ち止まることができず、すぐにこの場を去っていかなければいけませんでした。皆さんが掲げてくれた横断幕をしっかり見ることができました。

宮崎県で頂いた寄せ書き入りの横断幕。まだ空白が目立っていたのに、すれ違いざまに見た横断幕にはもう余白がないくらいにびっしりと応援メッセージで埋め尽くされていました。走り去った後も、皆さんの大きな声援を背中に感じとても大きな力になりました。

防衛省から四谷へと走ると電車と平行しての走りとなります。2年前に私がこの場所を骨髓バンクの襷をかけて走っていた時、都内の病院で勤務している看護師さんに声をかけられました。その方はフルマラソンの部門に参加されていて、「完走して入院患者さんに力を分けてあげたいです。」と、力走されていました。私が元白血病患者だと知ると、「こんなに元気になれるのですね。明日早速患者さんたちへお話をさせていただきます」と、とても喜んでもらったのを覚えています。

飯田橋の手前には、給水所と5.6kmの関門があります。給

東京の会 「4月定例会」 のお知らせ

4月16日(土)午後5時30分より
会場:全労済東京・レインボー会館3階会議室
※新宿駅下車7分(新宿区西新宿7-20-8)
※西新宿駅下車1番出口徒歩2分
青梅街道新宿警察署きらやか銀行の角入ってすぐ右側

※5月定例会予定・5月21日(土)午後5時30分より
定例会は毎月第3土曜日午後5時30分 から開催しています。

5月会報発送 「おりおり」 のお知らせ

5月7日(土)13時00分より
※13時までは品川運輸さんが使用されています。13時以降にお越し下さい。
場所:品川運輸・4階会議室(品川区東大井2-1-8)
JR大井町駅徒歩8分・京浜急行鮫洲駅徒歩2分
※今お読みになっている「東京の会通信」を約1000部折って封入して発送します。簡単な誰にでも出来る作業です。いつも人手が足りません。どうかご協力を。
※6月「おりおり」予定・6月4日(土)13時00分より

新しい方大歓迎です。お気軽においで下さい。お待ちしております。

水所では多くのボランティアの方々が水を手渡しながら声援をおくってくれました。これだけ大きい大会ですので、全区間では1万人以上のボランティアがサポートしてくれているそうです。関門にはかなりの時間余裕を持って通過できました。10km部門なら、スタートから早歩きでも十分に間に合うので、障害者にも大変優しい大会になっています。

7km付近では、毎年有志の覆面レスラー応援団がYMCAの曲を流し、ランナーに力を与えます。通過するランナーや、沿道の人達全員でYMCAの振り付けをするのが、毎年の風物詩となっており、ここでみんな一緒に踊るのが私の楽しみの1つでもあります。

病気で入院中、気分が落ち込んでいる中で、クラスメートの手紙で励まされたのを覚えています。誰かを励ましたり、励まされたりという行為には、目には見えませんが本当に大きなエネルギーがあると、病気やマラソンを通し実感しています。

私達も沿道で応援しました！

胸に輝く完走者だけのメダル

2月27日、みぞれまじりの昨年とは違ってかわり晴天の東京マラソンの朝を迎えました。東京の会のスタッフは、マラソンで全国走破中の宮城順君の応援に曙橋の事務所に集まりました。

午前9時、たくさんの人の目に留まるよう幟と皆からの大きな寄せ書きの横断幕の準備をし、事務所前にスタンバイ。この横断幕は、宮城君が国際青島太平洋マラソンを走った時に、現地のみやざき骨髄バンク推進連絡会議の皆さんが用意してくれたものです。応援に出ている近所の方々も、元気になった患者さんが出場すると聞き、寄せ書きにペンを走らせてくれました。

先頭車が通過後、まずは車椅子のランナーがものすごい勢いで走ってきます。低い姿勢でレーシングカーのようにあつという間に目の前を通り過ぎて行きました。その後まもなく、フルマラソンの第一団が到着。近くで見るとマラソンとは言えその速さに驚きます。筋状だったランナーがだんだん道幅いっぱいが増えだし、こちらもがんばって声をかけます。かわいいユニフォームや様々な仮装、ランナーの格好を見ているだけでもとても楽しく、あつという間に時



駆け抜ける車椅子ランナー

沢山の声援を受けながら、私も笑顔で完走することができ、骨髄バンクの啓発をすることができました。今回もTシャツの背中にプリントされている闘病中の写真の効果は大きく、日本最大規模のマラソン大会ということも手伝って、本当に多くの人に声をかけてもらうことができ、「骨髄バンクを少しでも身近に感じてもらえたかな？」という思いと、その声援に笑顔で応えられ、健常者と変わらないまで体力に自信が付いたことに、大きな喜びを感じることができました。

私が20年前に無菌室で闘病生活をおくっていた時、ベッドからも動けず、何も食べられずの中で、1番の楽しみはテレビで旅番組を見ることでした。テレビを見ながら自分がその土地を歩いたり、食事をしたりと想像し、旅行した気分を味わっていましたが、今では実際に自分の足で全国を周れることを大変嬉しく思うとともに、当時一緒に病気と闘ってくれた全ての人に、改めて感謝致します。

間が過ぎていきました。

スタートから数キロ、まだランナーにも余裕があり、声をかけると余裕な表情で手を振って答えてくれます。知っている芸能人もちらほら。そんな中、突然目の前に黄色いユニフォームの宮城君が！あわてて声をかけると笑顔で答えてくれました。姿が見えなくなるまで、皆で「宮城！宮城！」と応援です。

その後、急いで荷物を片づけ移動の準備。ビルの9階にある全国協議会事務所から見た靖国通りはランナーで埋め尽くされ、滅多にみられない光景で、思わず写真をパチリ。皆の準備が整い、地下鉄の駅に向かいます。電車の中はやはり応援の人たちで賑わい、ゴール予定の日比谷の駅は人であふれていました。

出口を求めて右往左往、地上への階段も列ができており、10kmゴールの前はすでに前が見えない程の人ごみに。宮城君はどこかな～と気になりながらweb上でチェックすると、既にゴールしているとの記録が……。そして携帯で日比谷公会堂前にいると連絡がとれ、皆で向かう事になりました。

日比谷公園内は、ステージで催しものがあったり露店が立ち並び、ゴールしたランナーや応援の人たちでとても賑やかです。人の波をかき分け、ようやく公会堂前にたどりつくと、すがすがしい顔をした宮城君が待っていました！ランナーにとっては少し暖かすぎる気温でしたが、疲れも見せず元気に皆と握手を交わし、完走者だけがもらえるメダルを見せてくれました。

そして近くに骨髄バンクのたすきをかけたフラチームを発見！みなで記念撮影をしました。マラソンでは、走っていると沿道の応援に本当に励まされますし、応援する方もランナーに元気をもらえます。とても気持ちのいい日曜日を過ごすことができました。ありがとう、宮城君。(大熊友子)

宮城君!完走おめでとう!

春のような日差しの中を、笑顔で風のように走り抜けていった宮城君!完走おめでとう!!

闘病中のご自分の写真をプリントしたTシャツを着て、一生懸命走る姿は、骨髄バンクのアピールになったことでしょう。

マラソン全国制覇に向けて一步一步着実に進んでいますね。

これからも応援しています。ガンバレ!

でも無理はしないで下さいね。

ゴールを迎える頃にはマッチョな宮城になっているかもお!?

とちょっと想像してみました(??)

(財団登録ボランティア 星野道子)

刺激的だった東京マラソン

「はっ はやい!」

都庁でのスタートから3km位のところで待っていた時のこと、最初の車椅子の選手が通り過ぎました。「アッ」という間の出来事です。

いろいろな選手たちの姿を見て、私は応援に行っただけなのにまるで参加した気分楽しくなり、興奮しました。

『東京マラソン最高!!』来年も応援を頑張りたいな!!』



と思った瞬間です。

最初の興奮から少しして我らの宮城くんが余裕の表情で走ってきました。彼が通りすぎたあと、私たちは地下鉄で日比谷公園へ。でも、「FINISH」地点に辿り着いた時、宮城くんはゴールしていました。帰る時、彼のクラスの表彰式のアナウンスが……。

「いいの?」と聞いたら、早い人は40分位で走っちゃうから、僕なんて全然…」との言葉。「えっ」と驚き、絶句。

東京マラソンとはいろいろ新鮮な驚きやらショックがあり、スポーツだけではなく脳の刺激にもよいのだなあとと思った次第です。(財団登録ボランティア 中森立子)

“Fight & Smile”

2月27日東京マラソンにて、10kmを見事完走した宮城順さんからのプレゼントメッセージは、“Fight & Smile”でした。彼のタフさと笑顔に感動しました。

ご本人が骨髄移植20周年を記念して走ることで、ドナー登録推進活動を、3万6千人のランナー・ボランティアスタッフ・沿道の応援の皆様にアピールできたことは快挙です。順さんが着て走っているオリジナルのイエローTシャツは、その背中に順さんが20年前に入院していた時の写真がプリントされていて、20年前の入院中の笑顔が最も説得力のあるメッセージを送っていたと思います。「僕は頑張っているよ!」って。

これからも順さんの全国制覇(世界制覇)のマラソンを通しての骨髄ドナー登録推進活動を、微力ながら引き続き応援させていただきます。ありがとうございました。

(財団登録ボランティア 鈴木薫)



9階の事務所よりパチリ

第22回東京の会定期総会のお知らせ

東京の会の活動方向と活動方針を確認する定期総会を、6月25日(土)に西新宿の全労済東京会館会議室にて実施します。

今年も医療講演会や患者交流会などを実施する予定です。詳細は今後の東京の会通信で再度ご案内します。

日程:6月25日(土)13:00~17:00(予定)

会場:全労済東京会館(新宿区西新宿7-20-8)

内容:定期総会

2010年度活動報告および会計報告

2011年度活動方針・宣言・役員改選

医療講演会・患者交流会(予定)

バイシクルライド東京2011は中止

今年の「バイシクルライド東京2011」は、東北地方太平洋沖地震の影響で開催が中止になりました。

東京では4月末日までの計画停電の発表を受け、信号機が作動をしない等、自転車走行の十分な安全性を確保することが難しいとの判断から、大会を安全に運

営できない懸念が中止の理由です。

選手として参加予定だった方、またコースガイドのボランティア参加を楽しみにしていた方も多いと思いますが、ご理解のほど宜しくお願い致します。

心のこもったご寄付ありがとうございました。(2011.2.16~3.15)

吉岡 央さん 5,000円/坂本 孝子さん 3,000円/中嶋 一雄さん 20,000円/磯田 春江さん 5,000円
お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年3,000円)を差し引いて掲載させていただきました。



▼東北地方太平洋沖地震で犠牲になられました方のご冥福を心よりお祈りいたします。また、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。私たち東京の会のボランティアも一日も早い復興を信じて、できる力を集めて活動を続けてまいります。

▼3月11日の震災当日、東京千代田区にある財団が入るビルも大きな揺れに会い、事務所内壁の天井の一部が崩れました。幸いけが人もなく業務に支障をきたすことはありませんでした。しかし、被災地のライフラインはまったく機能を失い孤立状態となりました。

▼言うまでも無く病院での停電は人命に直結します。そして福島第一原発での事故です。このニュースは世界の人々を震撼させました。日本では1999年9月に茨城県東海村の核燃料加工施設「JCO東海事業所」で三人の職員が被曝した、東海村臨海事故を思い起こさせました。

▼ウラン燃料の加工作業中に突然、臨界に達したときに放たれる「チェレンコフの光」といわれる青い光が彼らを襲いました。放射線のなかで最大エネルギーの中性子線が彼らの体を突き抜けたのです。被曝の瞬間です。運び込まれた病院(放射線医学総合研究所)の当時のメモには「被曝量8シーベルト」と記されており、最終的な被曝量は20シーベルト前後とされています。これは通常1年間に浴びる限度の2万倍の量です。8シーベルト以上の放射線を浴びた場合の死亡率

は100%とされています。

▼その中のお一人(Oさん)は被曝後7日目に東大医学部附属病院で妹さんより末梢血幹細胞移植を受けています。残念ながら77日後に亡くなるまで過酷な闘病生活は続きました。77日という時間や治療方法に対して、誰にも語ることはできません。

▼今後、政府に対して災害時において病院等へ、ライフライン確保ができる強い環境整備が求められることになるでしょう。そんな混乱する東北地方で震災当日から16日までの間に3件の骨髄移植が無事に行われました。ドナーの勇気、家族の協力、医療従事者やコーディネーターの命をつなぎとめるという強い思いに大きな希望を感じます。

▼4月といえば新年度のスタートです。財団も新たな体制で様々な課題に取り組み乗り越えなければなりません。財団は昨年9月28日に行われた厚労省での省内仕分けで、天下り問題や公益財団法人への移行を踏まえ、「平成22年度末の任期満了による退任後は公募による役員選出を行う」との改革案を文書で提出した経緯があります。しかし、私たち東京の会やボランティア団体にも公募理事選出に関するアナウンスはひとつも聞こえてきておりません。どのような体制の下に新年度を迎えるのか、理事長や常務理事の去就を含め、注目したいと思います。

▼何より求められるのは、これからの造血幹細胞移植医療を取り巻く環境を踏まえた改革と、今回のような災害や不測の状況下でも安定、安心して治療が進められるより良い体制作りの実現です。

▼この未曾有の災害からの一日も早い復興を国民のひとりとして願っております。(I)

東京ドナー登録会予定(4月)

4/13(水) 日本橋たもと(中央区)

4/23(土) 東京プリンスホテル(港区)

4/15(金) 電源開発株式会社(中央区)

4/29(祝) 荒川「川の手まつり」(荒川区)

ご寄付と会費の納入、そして絵はがきや書籍・テレホンカードの購入は郵便振替にてお願いいたします。皆様からの善意をお待ちしております。

**ボランティアの運動にも資金が必要です。
東京の会に活動資金のカンパを!**

郵便振替口座番号
加入者名義

00100-1-555195
公的骨髄バンクを支援する東京の会